

無停電を保障してくれる装置が、漏電の原因に…

北陸電気保安協会 福井支店 保安課 宮地 雄一

朝一番に月次点検へ伺った際、いつものように挨拶し「何か変わったところないですか？」と問診したところ、「そう言えば今朝、屋上でラジオ体操を終えてフロアに降りようとしたら、何かブザー音が突然聞こえた。あと、これは関係ないかもしれないが最近3階フロアで変な臭いがする。」との事でした。

早速点検を開始してみると、屋上キュービクルでブザーが鳴っており、「漏電」のランプが点灯していました。その事をお客さまに説明し漏電を調査すると、3階電灯盤に送っている回路に異常がある事が分かりました。

3階に行ってみると、問診の際に「3階フロアで変な臭いがする。」とお客さまが言っていたとおり、前回点検時にはなかった電氣的に過熱したときに出る特有の臭いがあり、辿っていくとサーバー室から感じました。また、サーバー室横の3階電灯盤で漏電している回路を探查すると、『サーバー室内コンセント回路』と特定できました。

漏電箇所と異臭の原因を見つけるため、サーバー室内の機器を放射温度計にて温度計測してみると、他の機器が30～40℃のところ、1台だけ機器の表面温度が70℃という無停電電源装置（通称：UPS）がありました。また、異臭もUPSから感じとることが出来ました。

早速、その過熱しているUPSが漏電している可能性もあるので、この先の探查にはサーバー室の停電を要することをお客さまに伝えました。

当初は通信設備の中核であるサーバーを停電する事に、お客さまは難色を示されましたが、停電事故や火災発生の恐れのある漏電と異臭の原因を早急に取り除く必要性を伝えると、お客さまの理解が得られ停電を実施し、UPSを電路から外すことができました。

外したUPSを確認したところ、内部の不具合により過熱し異臭が発生していた事とそれが原因で漏電していた事が判明しました。このことをお客さまにお話すると、大変感謝され、私も日常点検の大切さを痛感しました。

本来、UPSは停電時にお客さま設備の電源を部分的にバックアップしてくれる機器です。しかし、ファンによる排熱が十分ではない場合や、機器内部に埃が入ることで内部不具合を引き起こすことがあります。それが原因でUPSが正常に動作しない事や、漏電や異常過熱による火災を招く恐れもあります。

今回のように、お客さまから（問診の際に）情報をいただくことで、原因特定から解決までを効率よく進めることができ、不意な停電などを防ぐことができます。

当協会検査員が点検に伺った際は、どんな些細なことでもお気づきのことを伝えてくださるようよろしくお願い致します。



UPS



放射温度計